



発行所 岡山県立笠岡高等学校 同窓会 岡山県笠岡市笠岡3073の2 事務局 0865 (62) 5128 印刷 (株) 正文社印刷所

千鳥会活性化へのヒント



同窓会副会長 三好孝一

この一年いたらぬながらも代表副会長として何かと務めさせていただき有難うございました。同窓会千鳥会の今後を占いますとき、今伝えておかねばならぬことを、長年の会幹部としての体験の中で何があるかを真剣に考えさせていただきました。千鳥会が元気であることの基本は各学年単位の元気の重なりが全体の隆盛を作り上げることは言を待たぬところでしょう。その件につき私達昭和三十年卒の歩んだことを申し伝え各期役員諸氏を中心に実践を願えるなら幸せと存じます。同窓会総会の当番年制度が始まったのが昭和四十年であり、また七月第四日曜日の決まりの歴史は知りませんが昭和三十年にはすでに決定実施済みであつたと記憶しています。当番年制は昭和三十年の運営委員会に私達三十年卒は三十名も出席し、全体会のと校舎中庭で輪を作り同期会をやりました。ですから総会当日には卒業生の三分の一近い九十人も集

またた体験を持ち、私の持論は運営委員会に多くの同期集合を当番学年の努力目標にして役割分担をこなすだけでなく多勢で氣勢をあげるような運営委員会を望みたいのです。次に「千鳥会報」を十年一度当番年の同期に送り届けることです。当番年の役割のなか、千鳥会報の執筆を決めてもらい、原稿が集まり校内役員の先生の御努力のもと発行されますが、出来上がった会報紙をいかに多くの人に届けるかです。費用、人件費、人材共に中央から全体に送り届けることは不可能なものです。そこで私達三十年卒組は地元在住者により郵送費として一人千円を全国同期生より集金し、会計役が居て管理し、宛書きも人材あつて手分けして発送してきまして、十年一度の会報発送の絆ですが、年齢を重ねるとよかつたと思つていきます。次年度は各期0年の当番年の平成三十年は新しい年号が始まるかもしれませんが、平成三十年としてぜひ参加出席を今から呼びかけておきます。当番年制度元祖として期待申しあげます。

部の中国大会出場等、部活動の素晴らしい成果にも表れていきます。さて昨今、教育の二〇二〇年問題が話題となつています。二〇二〇年には、大学入試センター試験が廃止され、大学入試の方法が大きく変わります。高校教育に関しては、「知識の習得」を中心とした従来の学習から、「知識の活用」を目指すスタイルへと大きな転換を迫られています。本校では、伝統的教育を大切に継承しながらも、時代の流れをとらえ、新しい教育にも積極的に取り組んでいきます。社会に開かれたカリキュラムの中、キャリア教育を推進し、さまざまな体験をおとして、学ぶ意欲と確かな学力、高い志をもち挑戦する力など、自らの人生と社会の未来を拓く力を育みます。そして、生じた興味を深め、じっくりと考察し、自分らしく創造する力を育てる体験型人間形成に取り組んでいます。そういった取り組みの一つとして、岡山県が行つて「ふるさと岡山学舎環境整備事業」で、本校はアクティブ・ラーニング用教室整備を計画しています。新学習指導要領の目玉であるアクティブ・ラーニングを効果的に、新しい大

長い歴史と伝統により培われた自由な校風の中、子どもたちは真摯に文武一道に励んでいます。その姿は、岡山県西部の普通科進学校としての進学実績や書道部の全国総合文化祭への参加、陸上競技部、山岳



学校長 鳥越信行

千鳥会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。昨年度末には、本校創立一五周年記念として千鳥会から、自転車置き場西に掲示板を寄贈していただきました。早速、部活動の結果などを掲示し、活用させていただきます。皆様方の母校の後輩に対する温かいご支援に、心より厚く御礼申し上げます。これからも大切に使用させていただきます。この掲示板が栄光の軌跡で一杯となるよう努力してまいります。笠岡高校は今年度で創立一六六周年を迎えました。一六六周年を記念して、長い歴史と伝統により培われた自由な校風の中、子どもたちは真摯に文武一道に励んでいます。その姿は、岡山県西部の普通科進学校としての進学実績や書道部の全国総合文化祭への参加、陸上競技部、山岳

東京支部総会報告

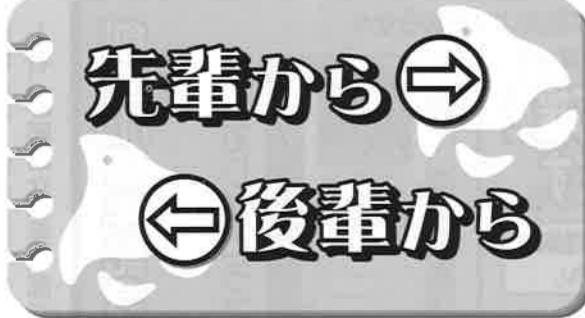
教職員は千鳥の新しいステージを全力で創りあげてまいります。千鳥会の皆様の御指導をよろしくお願いいたします。昭和六十二年卒 西尾 映子 風薫る五月二十七日、アリスアクアガーデン品川にて東京支部総会を開催いたしました。来賓に佐藤康副会長、鳥越校長、佐藤達郎先生、小林市長、的場秘書課長、近畿支部の佐伯様、恩師の大山先生、平松先生をお迎えし、総勢七十名の方にご出席いただきました。お世話になつた先生方や同窓生との久しぶりの再会に、笠岡時代を懐かしみつつ近況報告に花が咲きました。懇親会のアトラクションは、テーブル対抗「ご当地クイズ」でした。故郷笠岡にまつわる写真をパソコンでクイズ形式に編集したものをスクリーンに投影するスタイルでの出題でしたが、絶妙な司会と相まって大いに盛り上がりました。笠岡を離れて過す同窓生にとつては故郷への思いを馳せるひとときとなつたのではないのでしょうか。最後は笠岡高校の校歌を斉唱してのお開きとなりました。今年度幹事は六十二年卒でした。一年前に約三十年ぶりの再会をし、準備を進めて参りました。ほとんどのメンバーが総会に一度も出席したことがなく手探りでスタートとなりましたが、当日は出席された方々の笑顔と「楽しかったよ」

近畿支部総会報告

との温かいお言葉に、幹事一同感激いたしました。今後この総会を機に同窓生の輪が広がり、千鳥会がますます発展していくようお願いしております。昭和五十一年卒 近畿支部長 陶山 英志 平成二十八年九月二十五日 常翔学園大阪センターに於いて第二十五回千鳥会近畿支部総会を開催致しました。三好孝一同窓会長代行、新任の鳥越信行校長先生、黒川竜生先生、東京支部より磯田雅之(昭和五十九年卒) 監事の御臨席を賜り御祝辞を頂き近畿支部二十七名の出席でアットホームな雰囲気の中、盛会裏に無事終える事が出来ました。各人毎に配膳される西洋料理はテーブルに溢れ大阪駅前前的高级ホテル以上の味に酔いしれた一時でした。又、篠原敬介(昭和三十九年卒)さんが笠岡名物の唐柿と採れ立ての蝦蛄を深夜に車を飛ばし皆様に御提供頂き、故郷の久々の珍味に舌鼓を鳴らしました。懇親会ではビンゴゲームの細やかな景品にうどん(小川製麺製) 海苔(小林産業) クッキー(コメット製) を用意しました。昨年の運営委員は昭和五十年卒業の石井雄大さんでしたが今年度は昭和五十一年卒業の江木宏さん、橋内(近石) 倫子さん、高橋(近石) 雅子さん、谷口(佐藤) 淳子さんをお願いし、会場は眺望の素晴らしい中国料理「白楽天」(梅

田)で九月二十四日(日)を予定しています。本年も愉しく心に残る集いに成る様にしたいと思ひますので御期待下さい。運営委員及び幹事一同御出席をお待ちしています。

入学後暫くして、一年先輩からのお声掛けがあつて、剣道同好会を作ろうということになりました。顧問は三平先生。恐らく、私の入学以前から話しは進められていたのだろうと思ひます。幸い、自宅に剣道の防具が二揃いありましたので、それを持って参加させていただきました。練習場所がないというので、なんと、晴れの日だけ、裸足で地面を蹴る剣道同好会というスタートでした。中一から剣道を続けていたのですが、一番強い先輩は三段、同級生も有段者ばかりの中ですから、引け目を感じる事が多かつたので



剣道部創設の頃 昭和三十九年卒 清水 親義

四月中旬、同窓会総会の打ち合わせのために笠岡高校を訪れました。私が通つた一年四組の教室を見てみると、体育会の応援でトラベットを吹いたこと、合唱コンクールの舞台でハイモニーを体感したことなどが懐かしく思い出されてきました。特に、高校三年生の秋、文学部が教育学部で迷つていた私は、地理の補習が終わつた教室で、先生に「先生はどうして教員を選んだんですか」とたずねました。すると先生は目を輝かせながら「原君、教員という仕事は、二十一世紀を作る仕事じゃ。魅力的じゃろう」とおっしゃいました。この言葉で迷いが吹っ切れて、教育学部を受験し、教職に

青春のページ 昭和四十九年卒 原 範幸

ですが、下手でも、試合には必ず連れて行つて下さいました。自分の高校時代と防具の汗のにおいを切り離すことはできません。私が入学した年度は、商工分離の年で、笠岡市に普通科・商業科・工業科の三科が揃つた年でもあります。笠岡高校でも広大なグラウンドが完成し、体育の時間は石拾いからスタートというのも結構ありました。東京オリンピックが間近に控えていましたから、東京五輪音頭の踊りを、そこそそ繰り返して練習させられました。日本が本格的な経済発展に向かつて動き始めた時代ですから、社会全体が前向きだった気がします。

就き、充実した三十八年を過ごすことが出来ました。教員という仕事は苦勞が多かったですが、卒業式で立派に成長した生徒の姿を見るたびに「教員になって良かったなあ」という思いを強く持ちました。

今年、岡山大学教育学部で後進の育成にかかわる仕事をやる機会を得て、やりがいのある時間を過ごしています。

地理の先生の熱い思いを聞いた後、教室を出ると笠岡の街並みの向こうに夕焼けの瀬戸内海が見えたことを今でもはっきり覚えています。

今、思うこと

昭和五十九年卒
水田満喜子

現在はその方々の協力の下にオーディション、コンクールやリサイタルにと、日々練習を重ねています。茶道は、師匠のお手伝いでお茶会に参加して、日頃目にはできないような美術品を拝見したり、日本文化を体験しています。編み物は、年十回ある講習会で新しい技術を学び、オンラインワンのニットで多くの方々に喜んでいただけるよう試行錯誤しています。

今後も色々な繋がりを大切にしつつ、一音一音、一針一針丁寧に人生を紡いで生きたいと思えます。プライベートタイムをとりながら。

はや二十年

平成九年卒
長屋 年徳

笠岡高校を卒業し、二十年が経ちました。二十年前の高校時代、世の中では「ポケベル」が流行し始め、大学時に携帯電話やPHSといった通信機器がやっと広がり始めました。今や常識となったPCやインターネットも、やっと大学四年時の就職活動時代に購入し、活用したことを覚えています。

この前、ふと笠岡高校のホームページを見てみると、笠岡高校が平成二十九年度で創立一十六年を迎えることが掲載されていました。この二十年間を見ても、新千鳥会館が新設されたり、全普通教室にプロジェクトが完備されたりと、笠岡高校も大きな変化を続けています。その新千鳥会館で平成二十七年三月の卒業生が同窓会を行った写真がアップされており、見るだけで元気が湧いていきます。

きっかけは千鳥祭

平成十九年卒
奥野 将太

我々の学年は、今年度中に年齢は三十九歳になり、三年間を大切に過ごしてもいいかなと思います。そして今後一生付き合っていくであろう友達、パートナーとの出会いを大切に、最高の思い出を作ってもらいたいと思います。

最後に、私たちの子どもにも、私たちがどこでどのように出会って結婚したのかを伝えるためにも、今後の千鳥の発展の一助となるよう頑張ります。

笠岡高校出身です

平成二十九年卒
河田 和奏

大学に入学して自己紹介をする度にこう言っている。言いつつ、それぞれの道で頑張っている仲間のことを思い出して、自分も頑張ろうと気が引き締まる。大学での生活に慣れてきた今、笠岡高校で過ごした日々が再びよみがえってくる。

笠岡高校での三年間はとても充実したものでした。楽しかった修学旅行や千鳥祭などの学校行事。心と体を鍛えた部活動。教室で交わしたたわいもない会話。一方で、進路の悩み。今思えばそんなときに周りの人の優しさ、温かきを感じて、苦しみを乗り越えられたから自分自身成長できたのだと思う。三年間一緒に過ごした仲間を思うと頑張れるのは、楽しいだけでなく苦しみながら成長してきたことをお互いに知っているからだろう。

部活動報告 H28年度

- 吹奏楽部
 - 第57回吹奏楽コンクール 高校A部銀賞
 - ヤマハ新入部員募集コンテスト グッドアイデア賞
- 書道部
 - 第45回全国高校書道展・特選
 - 第62回岡山県児童生徒書道展 特選1名、佳作6名
- 美術部
 - 高校生美術コンクール 金賞2名、銀賞3名
 - 備西地区交通ポスター 最優秀賞
- 物理部
 - ロボコン2016 「千鳥」号決勝トーナメント
- 邦楽部
 - 第40回県高等学校総合文化祭 日本音楽部門・優良賞
- 剣道部
 - 備中支部剣道大会 男子団体・ベスト8 女子団体・ベスト3位
 - 男子個人・優勝
- 山岳部
 - 第56回中国登山大会県予選会 男子団体・第6位
 - 第56回中国登山大会 男子団体・第8位
 - 秋季登山大会 踏査女子・第1位 個人総合女子・第2位
- サッカー部
 - 備西地区総体・第2位
 - 県総体・ベスト28
 - 高校サッカー新人大会 ベスト28
 - ソフトテニス部(男子)
 - 県総体備西地区予選 個人ベスト12・1組
 - 県総体 団体・ベスト16
 - 新人戦備西地区予選 個人ベスト16・2組
 - 岡山県新人大会 団体ベスト16
 - ソフトテニス部(女子)
 - 県総体備西地区予選 個人5位・1組
 - 高梁川流域大会 個人ベスト16・1組
 - 新人戦備西地区予選 個人9位・2組
 - 陸上競技部
 - 女子走幅跳・第6位
 - 女子やり投・第6位
 - 女子7種競技・第8位
 - 中国高校陸上選手権 女子走幅跳・女子やり投出場
 - 高校新人陸上大会 男子やり投・第1位 女子円盤投・第3位
 - 中国高校新人陸上大会 男子やり投・第7位 女子円盤投・第8位
 - 高校駅伝競技大会 女子・第7位
 - 中国高校駅伝競技大会 カブトガニ駅伝 女子出場
 - 高校男子・女子・優勝
 - ハンドボール部
 - 岡山県高校新人大会 男子個人・優勝
 - ソフトボール部
 - 秋季大会・ベスト8
 - 備中支部総体・ベスト4
 - 卓球部
 - 岡山県高校卓球新人大会 女子学校対抗・ベスト8
 - バスケットボール部(女子)
 - 玉島浅口笠岡地区・第1位
 - バドミントン部(男子)
 - 県総体西部地区予選 学校対抗・第2位
 - 個人第5位1組
 - 県秋季大会西部地区予選 学校対抗・第1位
 - ダブルス第4位1組6
 - ダブルス第4位1組6
 - バドミントン部(女子)
 - 県総体西部地区予選 学校対抗・第1位
 - ダブルス2位、4位
 - 県秋季大会西部地区予選 学校対抗・第1位
 - ダブルス第2位2組
 - バレーボール部(女子)
 - 備西地区総体・優勝
 - 県総体・ベスト16
 - 新人大会備中支部予選会 第4位

事務局よりお知らせ

ふるさと岡山「学び舎」環境整備事業
**母校 笠岡高校の応援を
 よろしく願います。**

笠岡高校ではアクティブ・ラーニング用教室整備事業
 を行っています。詳細は本校HPをご覧ください。

*インターネットでお申込み
 「ふるさと岡山応援寄付金」で検索
 →「おみやげコース(返礼品なし)」
 →送金方法を選択→必要事項を入力
 (ふるさと岡山「学び舎」環境整備
 事業を選択し、金額を入力。
 寄付先に「笠岡高校」を指定)

*電話でのお申込み・お問い合わせ
 電話：0120-601-388
 (総務部事務課) 通話無料
 ふるさと岡山「学び舎」環境整備事業
 寄付先「笠岡高校」を指定してください。

**創立75周年記念掲示板が
 完成しました**

ありがとうございました

書道部・陸上競技部が
 全国大会に出場します。

行事	千鳥祭
9月 8日	9月 8日
9月 10日	9月 10日
7月 31日	7月 31日
9月 30日	9月 30日

◎国公立大学

東京1名、京都1名、大阪1名、名古屋1名、東京工業1名、岡山19名(医学部1名、薬学部1名を含む)、和歌山県立医科(医学部)1名、静岡県立(薬学部)

◎短期大学・専修学校

※合格者数は過年度卒を含むのべ数。

◎私立大学

早稲田3名、慶應義塾2名、法政2名、東京理科大学1名、順天堂(医学部)1名、日本医科(医学部)1名、昭和(医学部)1名、立命館6名、関西15名、関西学院6名、京都産業7名、龍谷1名、近畿9名、甲南2名、ノートルダム清心3名など

◎大学校

中国職能開発大学校1名

◎合格者合計295名